

看護学科

統合基礎看護学講座

看護形態機能学領域

原著論文

- 1 °Niina-Nakamura M, Kawano H: Effects of neonatal rearing by different types of foster mother on the distribution of corticotropin-releasing factor neurons in the central amygdaloid nucleus in rats. *Exp Brain Res*, 240(11): 2981-2988, 2022, 11.
- 2 *Hirohata T, Kitano T, Saeki C, Baba K, Yoshida F, Kurihara T, Harada K, Saito S, Mochizuki H, Shimodozono M: Quantitative behavioral evaluation of a non-human primate stroke model using a new monitoring system. *Front Neurosci*, Vol.16, 964928, 2022, 9.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Yoshida F: Potential of optogenetic neuromodulation treatment for stroke. *Neuroscience 2022 (Hybrid event)*. 2022, 11, 12-16 (On-site+On-line), 2022, 11, 9-12, 16 (On-demand). abstract book.

国内全国規模の学会

- 1 吉田史章：光操作法を用いた神経精神疾患の新規治療法開発の要素技術。一般社団法人日本脳神経外科学会 第81回学術総会（ハイブリット方式開催）。2022, 9, 28-10, 1（現地開催及びライブ配信）, 2022, 10, 17-11, 30（オンデマンド配信）。

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
客員 研究員	河野 史	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	足の変形による下肢筋への影響とその回復に関する形態機能学的解析	650
教授	吉田 史章	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	うつ病に対する脳深部刺激療法～モデル動物を用いた神経基盤の解明～	1,430
教授	吉田 史章	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	不安を緩衝する腹側海馬神経回路の探索	13
教授	吉田 史章	国立大学保健医療学系代表者協議会	教育・研究活性化支援試行事業 看護学分野	1	VR教材を用いた解剖生理学教育の活性化	100

基礎看護学領域

原著論文

- 1 坂美奈子, 原田広枝: 原著 看護教員を対象とした協働参加型授業改善プログラムの検証 - Instructional Design によるプログラムの実施, 評価. 日本看護学教育学会誌, 32(2-2): 97-110, 2022.
- 2 *Matsunaga H, Orita M, Taira Y, Shibayama K, Shinchi K, Takamura N: Risk perception regarding a nuclear accident and common factors related to health among guardians residing near a restarted nuclear power plant in Japan after the Fukushima accident. Int. J. Disaster Risk Reduct. Vol.70, 102776, 2022, 2.

総説

- 1 古島智恵, 長家智子: ゴードンの枠組みでアセスメント 事例でわかる! 疾患別看護過程 誤嚥性肺炎. プチナース, 31(2別冊): 2-19, 2022, 1.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Furushima C, Fukuyama Y, Asaka M, Shibayama K, Saka M, Node K: Investigation of skin condition and pruritus in outpatients with heart failure: A pilot survey. 7th WANS 2022 (hybrid event). 2022, 10, 18-19 (On-site+On-line). Abstract Book of 7th WANS, EP6-18.
- 2 °Fukuyama Y, Furushima C, Ito S, Akiyama A, Shinchi K: Heart Failure Management for Nursing Homes Residents in Japan: A Scoping Review on Improving Interprofessional Communication. 7th WANS 2022 (hybrid event). 2022, 10, 18-19 (On-site+On-line). Abstract Book of 7th WANS, EP7-16.

国内全国規模の学会

- 1 *大植 崇, 原田広枝, 大植由佳, 稲田紗希, 石橋美香, 坂美奈子, 末永陽子: COVID-19による新卒看護師の看護実践とメンタルヘルスへの影響を考える. 一般社団法人日本看護学教育学会 第32回学術集会 (WEB開催). 2022, 8, 6-7 (LIVE配信), 2022, 8, 7-9, 11 (オンデマンド配信).
- 2 *山口恭平, 上田智之, 下條三和, 坂本貴子: 日本における看護師のワーク・エンゲイジメントに関する研究の動向. 第42回日本看護科学学会学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 12, 3-4 (現地開催+LIVE配信), 2022, 12, 19-2023, 1, 22 (オンデマンド配信).
- 3 °金丸昌憲, 柴山 薫, 石橋秋奈, 野中良恵, 新地浩一: 大規模災害において精神科領域の看護師に必要とされる知識に関する研究. 第27回日本災害医学会総会・学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 3, 3-5 (現地開催+LIVE配信).
- 4 *松永妃都美, 野中良恵, 南嶋里佳, 柴山 薫, 石橋秋奈, 新地浩一: 大学院における実践的な国際看護の教育方法の開発に関する研究. 第27回日本災害医学会総会・学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 3, 3-5 (現地開催+LIVE配信).
- 5 °新地浩一, 松永妃都美, 野中良恵, 柴山 薫, 金丸昌憲, 石橋秋奈, 福山由美: 多職種連携を目指した佐賀大学大学院における災害医療に関する教育の紹介: オンライン教育の課題も含めて. 第27回日本災害医学会総会・学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 3, 3-5 (現地開催+LIVE配信).

地方規模の学会

- 1 °吉村 健, 永江孝太, 野村綾海, 水田貴久美, 古島智恵: 認知機能が保たれている患者における

TAVI（経カテーテル大動脈弁置換術）後のせん妄に影響する要因，第8回日本心臓リハビリテーション学会九州支部地方会，2022，11，12.

- 2 柴山 薫，古島智恵，坂美奈子，坂本貴子，矢田ともみ，江口有一郎，高橋宏和：肝炎医療コーディネーターの経験を生かした取り組み～実践から研究へ～，第120回日本消化器病学会九州支部例会／第114回日本消化器内視鏡学会九州支部例会（ハイブリッド開催），2022，12，2-3（現地開催），2022，12，6-25（オンデマンド配信）.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1：代表 2：分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
准教授	古島 智恵	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	心不全患者の掻痒感緩和に向けた看護技術の確立と効果検証	910 (135)
准教授	古島 智恵	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	在宅看護・介護者に向けたハイブリッド型教育・相談支援体制の構築とその評価	130
准教授	古島 智恵	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	高齢者の孤独感への介入によるセルフケア支援プログラムの開発と効果検証	130
准教授	坂 美奈子	科学研究費助成事業	若手研究	1	看護教員の授業構築における知識体系の解明	650
准教授	坂 美奈子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	転職による職場適応プロセスの解明と再適応を支援するキャリア発達プログラムの開発	121
准教授	坂 美奈子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	水害による被災者のトランジションモデルの開発	60
講師	坂本 貴子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	看護師長による看護師の継続意思につながる基本的心理欲求支援プログラムの開発	650
助教	坂本 貴子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	TEAとイメージネーションが拓く文化を創造する看護教員の力量形成プログラム開発	50
助教	坂本 貴子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	看護師のワーク・エンゲイジメントを向上させるためのプログラム開発	50
助教	柴山 薫	科学研究費助成事業	若手研究	1	非アルコール性脂肪肝疾患（NAFLD）患者の生活改善を促す教材開発と検証	1040 (500)
助教	柴山 薫	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	心不全患者の掻痒感緩和に向けた看護技術の確立と効果検証	65 (50)
助教	柴山 薫	科学研究費助成事業	基盤研究(B)	2	放射線防護リスクコミュニケーション現任教育モデルの検証	260

※（ ）は繰越金で外数

精神看護学領域

著 書

- 1 藤本裕二, 長家智子: ゴードンの枠組みでアセスメント 事例でわかる! 疾患別看護過程 アルコール使用障害. プチナース, 31(10)別冊, 1-20, 2022, 9, (株)照林社, 東京.

原著論文

- 1 ○古野貴臣, 藤野成美, 藤本裕二, 井村千尋, 菊池洋子, 平田歌織, 早木幸江, 古野 望: 女性労働者に対する性差を踏まえた節酒支援. 保健師ジャーナル 特集: 保健師を継続する力-歩み続ける支えとなるもの, 78(1): 50-55, 2022, 2.
- 2 白井ひろ子, 藤野成美: 看護管理者の勤務中における陰性感情体験. 福岡女学院看護大学紀要, 12, 2022, 3.
- 3 平田歌織, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二, 上岡奈美, 菊池洋子, 早木幸江: 子育て期の働く女性が認識する飲酒量を左右する要因. インターナショナル Nursing Care Research, 21(2): 21-30, 2022, 5.
- 4 ○古野貴臣, 藤野成美, 藤本裕二: 原著 アパシーのある認知症患者に対する看護実践. 日本精神保健看護学会誌, 31(1): 29-38, 2022, 6.
- 5 ○古野貴臣, 藤野成美, 藤本裕二: 飲酒習慣がある独居高齢者の抑うつに関連する要因. 日本在宅看護学会誌, 11(1): 2-10, 2022, 8.
- 6 早木幸江, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二: 精神科訪問看護を实践する看護管理者のコンピテンシーに関する調査研究. インターナショナル Nursing Care Research, 21(4): 129-138, 2022, 11.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 岩本祐一, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二: 睡眠薬服用中の認知症患者に対する看護実践自己評価尺度の開発. 日本精神保健看護学会第32回学術集会・総会(オンライン開催). 2022, 6, 4-5(ライブ配信), 2022, 5, 30-6, 30(オンデマンド配信).
- 2 藤本裕二, 松浦江美, 楠葉洋子: 地域で暮らす統合失調症者の身体活動量に関連する要因の検討. 一般社団法人日本看護研究学会第48回学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 8, 27-28(現地開催及びライブ配信), 2022, 8, 27-10, 7(オンデマンド配信).
- 3 菊池洋子, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二: 1型糖尿病患児を療育する母親のストレス反応に関連する要因. 第12回日本在宅看護学会学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 11, 19-20(現地開催+LIVE配信), 2022, 11, 19-30(オンデマンド配信).
- 4 ○古野貴臣, 藤野成美, 藤本裕二: 認知症患者に対する看護職のリカバリー志向性評価尺度の開発. 第42回日本看護科学学会学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 12, 3-4(現地開催+LIVE配信), 2022, 12, 19-2023, 1, 22(オンデマンド配信).
- 5 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二: モバイルアプリケーション「Feeling Good: positive mindset」日本語版開発と効果検証に向けた基礎的研究. 第42回日本看護科学学会学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 12, 3-4(現地開催+LIVE配信), 2022, 12, 19-2023, 1, 22(オンデマンド配信).
- 6 早木幸江, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二: 精神科訪問看護を实践する看護管理者のコンピテンシーに影響する要因. 第42回日本看護科学学会学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 12, 3-4(現

地開催+LIVE配信), 2022, 12, 19-2023, 1, 22 (オンデマンド配信).

- 7 菊池洋子, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二: 1型糖尿病患児を療育する両親のストレス反応および自尊感情に関する性別による比較. 第42回日本看護科学学会学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 12, 3-4 (現地開催+LIVE配信), 2022, 12, 19-2023, 1, 22 (オンデマンド配信).

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	特定保健指導を利用した女性多量飲酒者への節酒支援ガイドラインの開発と検証	1,430
教授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	VBPに基づく共同創造による精神障がい者のパーソナルリカバリー支援モデルの開発	13
講師	藤本 裕二	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	統合失調症者のリカバリーとスポーツ科学に関する研究	(0) 780
講師	藤本 裕二	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	VBPに基づく共同創造による精神障がい者のパーソナルリカバリー支援モデルの開発	520

※ () は繰越金で外数

在宅看護学領域

原著論文

- 1 Yumi Fukuyama, Akina Ishibashi, Koichi Shinchi, Akiko Akiyama: Factors affecting the future employment of new graduate nurses as home-visiting nurses: a cross-sectional study in Japan. J Rural Med, 17(1): 50-56, 2022, 1.
- 2 古野貴臣, 藤野成美, 藤本裕二, 井村千尋, 菊池洋子, 平田歌織, 早木幸江, 古野 望: 調査報告 女性労働者に対する性差を踏まえた節酒支援. 保健師ジャーナル 特集: 保健師を継続する力-歩み続ける支えとなるもの, 78(1): 50-55, 2022, 2.
- 3 古野貴臣, 藤野成美, 藤本裕二: 原著 アパシーのある認知症患者に対する看護実践. 日本精神保健看護学会誌, 31(1): 29-38, 2022, 6.
- 4 ○平田歌織, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二, 上岡奈美, 菊池洋子, 早木幸江: 子育て期の働く女性が認識する飲酒量を左右する要因. インターナショナル Nursing Care Research, 21(2): 21-30, 2022, 5.
- 5 古野貴臣, 藤野成美, 藤本裕二: 飲酒習慣がある独居高齢者の抑うつに関連する要因. 日本在宅看護学会誌, 11(1): 2-10, 2022, 8.
- 6 ○早木幸江, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二: 精神科訪問看護を实践する看護管理者のコンピテンシーに関する調査研究. インターナショナル Nursing Care Research, 21(4): 129-138, 2022, 11.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Fukuyama Y, Furushima C, Ito S, Akiyama A, Shinchi K: Heart Failure Management for Nursing

Homes Residents in Japan: A Scoping Review on Improving Interprofessional Communication. 7th WANS 2022 (hybrid event). 2022, 10, 18-19 (On-site+On-line). The 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science Abstract Book, EP7-16.

- 2 °Furushima C, Fukuyama Y, Asaka M, Shibayama K, Saka M, Node K: Investigation of skin condition and pruritus in outpatients with heart failure: A pilot survey. 7th WANS 2022 (hybrid event). 2022, 10, 18-19 (On-site+On-line). The 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science Abstract Book, EP6-18.

国内全国規模の学会

- 1 °隈本真有, 北村友美, 福山由美, 新地浩一: コロナ禍における在宅医療・介護の実態と課題に関する文献検討. 第27回日本災害医学会総会・学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 3, 3-5 (現地開催+LIVE 配信).
- 2 °北村友美, 隈本真有, 福山由美, 新地浩一: 在宅領域における標準予防策の実態に関する文献検討: コロナ禍における手指衛生の向上を目指して. 第27回日本災害医学会総会・学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 3, 3-5 (現地開催+LIVE 配信).
- 3 °岩本祐一, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二: 睡眠薬服用中の認知症患者に対する看護実践自己評価尺度の開発. 日本精神保健看護学会第32回学術集会・総会(オンライン開催). 2022, 6, 4-5 (ライブ配信), 2022, 5, 30-6, 30 (オンデマンド配信).
- 4 °早木幸江, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二: 精神科訪問看護を实践する看護管理者のコンピテンシーに影響する要因. 第42回日本看護科学学会学術集会(ハイブリッド開催). 2022, 12, 3-4 (現地開催+LIVE 配信), 2022, 12, 19-2023, 1, 22 (オンデマンド配信).
- 5 °藤野成美, 上岡奈美, 藤本裕二, 古野貴臣: モバイルアプリケーション「Feeling Good: positive mindset」日本語版開発と効果検証に向けた基礎的研究. 第42回日本看護科学学会学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 12, 3-4 (現地開催+LIVE 配信), 2022, 12, 19-2023, 1, 22 (オンデマンド配信).
- 6 古野貴臣, 藤野成美, 藤本裕二, 山口扶弥: 認知症患者に対する看護職のリカバリー志向性評価尺度の開発. 第42回日本看護科学学会学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 12, 3-4 (現地開催+LIVE 配信), 2022, 12, 19-2023, 1, 22 (オンデマンド配信).
- 7 °菊池洋子, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二: 1型糖尿病患者児を療育する両親のストレス反応および自尊感情に関する性別による比較. 第42回日本看護科学学会学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 12, 3-4 (現地開催+LIVE 配信), 2022, 12, 19-2023, 1, 22 (オンデマンド配信).

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
准教授	福山 由美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	在宅看護・介護者に向けたハイブリッド型教育・相談支援体制の構築とその評価	1,040
客員 研究員	秋山 明子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	在宅看護・介護者に向けたハイブリッド型教育・相談支援体制の構築とその評価	130
准教授	福山 由美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	在宅医療処置トラブルの予防・対応型シミュレーション教材の開発とその評価	0 (580)
客員 研究員	秋山 明子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	新卒訪問看護師育成・支援のための長期的な看護教育プログラムの開発	0 (349)
准教授	古島 智恵	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	心不全患者の掻痒感緩和に向けた看護技術の確立と効果検証	910
准教授	福山 由美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	心不全患者の掻痒感緩和に向けた看護技術の確立と効果検証	130
助教	柴山 薫	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	心不全患者の掻痒感緩和に向けた看護技術の確立と効果検証	65
講師 (特定)	古野 貴臣	科学研究費助成事業	若手研究	1	ハームリダクションを基盤とした独居高齢者に対する節酒支援モデルの開発と検証	910
教授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	特定保健指導を利用した女性多量飲酒者への節酒支援ガイドラインの開発と検証	1,430
講師 (特定)	古野 貴臣	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	特定保健指導を利用した女性多量飲酒者への節酒支援ガイドラインの開発と検証	130
講師	藤本 裕二	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	VBPに基づく共同創造による精神障がい者のパーソナルリカバリー支援モデルの開発	520
教授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	VBPに基づく共同創造による精神障がい者のパーソナルリカバリー支援モデルの開発	13
講師 (特定)	古野 貴臣	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	VBPに基づく共同創造による精神障がい者のパーソナルリカバリー支援モデルの開発	6.5

※ () は繰越金で外数

臨床心理学領域

著 書

- 1 村久保雅孝：パーソナリティ障害／不安障害／強迫症. キャリア・カウンセリング エッセンシャルズ400, I. メンタルヘルスケア, 8-10, 2022, 3, (株)金剛出版, 東京.

原著論文

- 1 °田口友美, 村久保雅孝：介護予防体操に促進する音楽を付加することによる主観的効果. Total Rehabilitation Research, 10(0)：1-18, 2022, 6.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 °田口友美, 村久保雅孝：介護予防体操に促進する音楽を付加して行く中で理学療法士に生じた意識変化のプロセス～複線径路・等至性モデル (Trajectory Equifinality Model) による検討. 第22回日本音楽療法学会学術大会 (ハイブリッド開催). 2022, 9, 16-18 (現地開催), 2022, 9, 16-10, 10 (オンデマンド配信).

地方規模の学会

- 1 °田口友美, 村久保雅孝：介護予防体操に促進する音楽を付加することによる主観的効果. 日本音楽療法学会九州・沖縄支部2021年度大会. 2022, 3, 20.